

受 令和 4 年 2 月 22 日  
付 (午前)・午後 9 時 00 分

一般質問 (代表・個人) 通告書

令和 4 年 2 月 22 日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 谷 口 武 司

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月  
定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問項目の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問項目 (大項目) ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項 (大項目) ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



<p>質問事項</p> <p>No. <u>1</u></p>	<p>小中学校保護者連絡システムについて</p>
<p>要旨</p>	<p>導入間もない保護者連絡システムですが、導入の目的を改めてお伺いして、当初期待された効果が現時点で現れているか確認させていただきます。また、短い期間ではありますが保護者や教職員からの評判や、コロナ禍にあつて凶らずも、想定されていた緊急時の使用などもあったと思われます、運用上で今後の課題は無かつたか確認させていただきます。</p> <p>(1) 導入の目的と期待していた効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年末導入された保護者連絡システムについて伺う</li> </ul> <p>(2) 災害時等の緊急連絡機能について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 想定されていた災害時等の緊急連絡の利用法について伺う。</li> </ul> <p>(3) 災害時の緊急連絡機能の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の活用と、受信確認漏れへの対応について伺う。</li> </ul>

※申し合わせ事項に留意する。

質問事項	タブレット端末を活用したオンライン教育について
No. 2	
要旨	<p>尾張旭市では他市町と比較しても先進的に、小中学生へのタブレット端末配布や、校内Wi-Fiなどの整備を進めていただいております。子育て世代の親として県内高校生も支給されていない高価な機材を小中学生の子どもたちに支給していただいたからには、子どもたちには何らかの形で将来に生かして欲しいと思っております。</p> <p>また、1月末の報道で、国立大学協会が2025年以降、国立大学の一次試験（大学入学共通テスト）でプログラミングなどの基礎知識を問う新教科「情報」を原則として課すことと決め、現行の「5教科7科目」から「6教科8科目」になるとの記事が出ておりました。2025年受験生は今年中学校を卒業する生徒からになります。教科の学習は高校で行われますが、素地として小中学校での取り組みによって「国語や数学が好き」「英語が得意」「理科や社会に興味がある」などと同様に科目となる「情報」によって生徒の将来を左右することも十分に考えられます。</p> <p>子育て世代の親としては、設備を順調に整えた尾張旭市において市内の子どもたちが、この設備を有効に生かして、他市町の子ども達に負けないよう活用し、将来に役立つような教育を学校側をお願いしていきたいと思います。</p>
	<p>(1) タブレット端末の活用状況と活用効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内小中学校でのタブレット端末活用状況について伺う。</li> </ul>
	<p>(2) 休業時のオンライン学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休業時の学びの保証について伺う。</li> </ul>
<p>(3) 保護者連絡システムとの連携活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者連絡システムとの連携活用による学びの保証について伺う。</li> </ul>	

※申し合わせ事項に留意する。

<p>質問事項</p> <p>No. 3</p>	<p>マイクロツーリズムに着目したシティーブランディングと尾張旭市の可能性について</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">要旨</p>	<p>マイクロツーリズムとは自宅から1時間から2時間圏内の地元または近隣への宿泊観光や日帰り観光をさします。リピート利用の潜在性が高く繰り返し利用してもらう仕組みを持つことで持続可能で安定したマーケットを創出できる可能性を秘めています。</p> <p>今回の質問は、県外移動の自粛をたびたび求められるコロナ禍にあって、このマイクロツーリズムの考え方のもと、観光施設などのインフラが無い、市内の市場規模が小さいと思われている本市でも、自然環境の整った健康都市であることを前面に押し出すシティーブランディングをしつつ、持続可能で安定したマーケットが作り出せるのではないかとの思いから、まずは尾張旭市をWEB上のホームページなどで知っていただくこと、尾張旭市に来ていただいて自然や歴史を感じながら市内を歩いていただくこと、市内のお店に立ち寄っていただくことが出来ないかという三つの視点からお伺いしていこうとするものです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) マイクロツーリズムに着目したシティーブランディングについて</li> <li>(2) マイクロツーリズムを前面に出した情報発信について</li> <li>(3) 尾張旭市ウォーキングガイドA-mapについて</li> <li>(4) 山辺の散歩道について</li> <li>(5) 歴史の散歩道について</li> <li>(6) 旭色の取組について</li> </ol>

※申し合わせ事項に留意する。